

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	住宅需給構造小委員会		主 査 名：吉川 徹 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会		委員長名：森本 信明 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住まい手の需要に応じた住宅供給システムと、実現のための政策に関する研究</li> <li>・ ライフスタイルの観点から見た住宅需要の分析</li> <li>・ 住宅需給に関する戦後の年表作成に向けた資料収集・整理と事例の収集・整理</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	伊藤 史子／首都大学東京、藤岡 泰寛／横浜国立大学、松本 真澄／首都大学東京、 加納 国雄／(財)日本不動産研究所、木内 望／国土技術政策総合研究所 橘田 洋子／Citrus、左海冬彦／建築行政情報センター、志岐 祐一／(株)日東設計事務所 首藤 亮一／国土技術研究センター、瀬川 祥子／三菱UFJ リサーチ&コンサルティング(株)、 田中 勝／山梨大学、生田目 裕／(社)東京都宅地建物取引業協会 米野 史健／大阪市立大学、吉川 徹／首都大学東京、頼 あゆみ／住宅支援機構		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2010 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：http://news-sv. aij. or. jp/keizai/ jj/	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む) (他に年表作成作業打ち合わせ 2 回)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. ライフスタイルの観点から見た住宅需要の分析については、特にタウンハウスなど戦後高度成長期の事例を収集し、本年度に関する目標はほぼ達成された。 2. 住宅需給に関する戦後の年表作成に向けた資料収集・整理と事例の収集・整理については、資料入力を完了し、分析に向けての基礎を築いた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 実作業の詳細な擦り合わせが必要であるため、適宜打ち合わせを開催する。 2. 住宅供給公社に関する資料収集、アンケートを行う必要がある。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。